

2021年10月

第133号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

藤井時代の幕開けの予感

オリンピック・パラリンピックが無事終了し、大会では10代などの若手の活躍が目を引き出した。

今回はやはり10代の将棋の藤井聡太棋士の話である。9月13日藤井二冠(王位・棋聖)は第6期叡王戦で豊島将之竜王を3勝2敗のフルセットで破り三冠王に輝いた。三冠の早期達成は羽生善治9段の22歳3か月がこれまでの記録で、藤井聡太三冠は19歳1か月で達成、28年ぶりの記録更新となった。

藤井三冠は2016年にプロ棋士となって以降、歴代最多の29連勝、最年少での公式戦で優勝するなど数々の記録を打ち立ててきた。

将棋界では八大タイトル(竜王・名人・王座・棋王・叡王・王将・王位・棋聖)となっているが昨年7月には17歳11か月で棋聖を獲得し、タイトル奪取の最年少記録を30年ぶりに更新したばかりであった。

将棋界では過去に三冠を達成した棋士が9人おり、藤井三冠は10人目にあたる。第1代は升田幸三第四代名人で大山康晴十五世名人、中原誠名誉王座(十六世名人)羽生善治(七冠タイトル独占・当時は七大タイトルだった)など一時代を築いたそうそうたるメンバーが顔を揃えている、その一角に愧いこんだのだ。

2016年12月24日プロデビュー戦では、年齢62歳6ヶ月差のある加藤一二三9段と対戦し勝利を収めている。

今年1月には名古屋大学教育学部附属高校3年生であったがタイトル獲得ができたので将棋に専念したいと卒業を間近に控えながら退学した。

幼いころは負けず嫌いで将棋で負けるとたびたび号泣したと言われている。藤井三冠の活躍によって将棋がブームとなり対局風景なども度々放映されるようになったほか、対局中のお昼食に何を注文したか、おやつには何を食べたかなど注目度がアップしている。最近対局に向かう立ち居振る舞いも板についてきた感じがあり、一段と風格が出てきた。一方、北海道旭川市で対局があったとき、旭川着の飛行機を千歳空港に変更し、そこから電車で旭川に向かった、大の鉄道好きでもある。

今回の三冠獲得で師匠の杉本昌隆八段は「閉塞感のある社会情勢の中、輝かしい記録を更新し続ける藤井三冠を師匠として誇りに思います。叡王はまだ歴史が浅く新しいタイトル。新叡王として新たな歴史を刻まれることを期待しています」と述べている。

将棋界は、渡辺明三冠、豊島竜王、永瀬拓矢王座、藤井三冠の「4強時代」に入ったと言われている。藤井三冠がタイトル独占という日が到来する可能性もある。10月には最高棋聖の竜王戦が開幕する。藤井三冠は再び豊島竜王に挑み四冠を目指す。目が離せない。



慶應義塾大学名誉教授 村田 昭治



「ベテランとプロのちがい」

「あの人はベテランだ」という言葉をよく聞く。

一般にベテランとは、社歴が古く、長い間、会社にいる人、そして仕事に慣れている人をいうが、わるい表現をすれば慣れすぎていて仕事の手抜きも上手な人ということかもしれない。

わたしは、ビジネスマンはベテランではなくプロになるべきだと思っている。プロとはどういう人かという、いつも新しい顧客を呼ぶ人、呼べる人ではないか。

調整力で生きるのではなく行動力と攻撃力で生きる人、挑戦心に燃え構想に基づき独創で生きる人間ではないかと思う。もちろん、そこにはリスクも伴う。しかし機会はふんだんあるのではないだろうか。そんな生き方をする人がプロだろう。

ベテランといわれる人は、次のような反省をしてほしい。

自分が喜ぶことをやり、自分のプラスになることを考えていないか。人が喜ぶこと、社会にとって正しいか会社にとって正しいかという感覚が弱くなってきていないか。

チャレンジ力やスピード力が鈍り、壁を意識して現状打破できなくなってしまう「悪きベテラン」になってはいないかと。

いいベテランであってプロであることが一番望ましいが、なかなかむずかしいようだ。

だが、ベテランであって、つねに新鮮な考え方をもち、前向きであることを心掛ける人は知らず知らずプロに近づく。

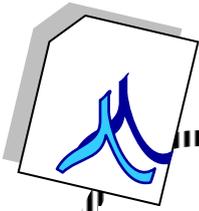
企業経営は、人間個人のもっているキャラクターに彩られることが多いように思う。

だから企業人の自覚が強い人ほどやらねばならないことが多いのではないだろうか。

企業を取り巻く環境はきびしい。しかし、会社のためというより、お客様や社会にとって何が正しいか、お客様や社会が何を望んでいるか、何を期待し何を喜ぶのかを考える事業が成功するのだとわたしは思っている。

そこにこそ、これからのビジネスの存在があり、成長の芽があるのではないか。

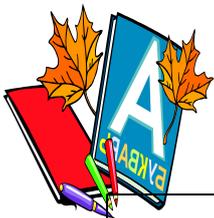
『「人を惹きつける経営」より』



フョードル・ドストエフスキー (ロシアの小説家・思想家)

- 1821年11月11日 モスクワの貧民救済病院の官舎で院長のミハイル・アンドレーヴィチ・ドストエフスキーの次男として生まれる。
- 1834年 文学教育で有名なチェルマーク寄宿学校に入学。
- 1838年 16歳。サンクトペテルブルク陸軍中央工兵学校に入学。
- 1840年 士官候補生となる。
- 1842年8月 少尉に任官。
- 1843年8月 工兵学校卒業、翌年中尉に昇進するも退職。作家をめざす。
- 1846年 処女作「貧しき人々」発表。大好評を受ける。
- 1849年 空想的社会主義サークル員となったとして官憲に逮捕される。銃殺刑執行前に皇帝ニコライ1世の恩赦により、シベリア流刑となる。
- 1854年 刑期終了。服役の体験がその後の作品に影響を与えた。
- 1858年 社会主義者からキリスト教的人道主義者へ思想的変化があり、「罪と罰」を発表。評価を受けた。
自分の賭博にのめりこむ癖から生涯貧乏生活を送った。「罪と罰」「賭博者」などは口述筆記とされる。晩年に「カラマーゾフの兄弟」を脱稿。
- 1881年1月28日 家族に看取られながら永眠した。享年59歳。

オススメの *BOOK*



「九十歳。何がめでたい」

作者 佐藤 愛子 出版社 小学館

著者は大正12年大阪生まれ。昭和44年「戦いすんで日が暮れて」で直木賞。そのた、女流文学賞・菊池寛賞・紫式部文学賞など多数受賞。

本書は90歳を過ぎて自らの目に飛び込んでくる一つ一つが目障りだったり、自分の体が思うように動かなくなったり、「ろーばは一日にしてならず」・和式トイレで立ち上がれなくなって悪戦苦闘したことを書いたり、好き勝手なことをズバズバ書き、書き手にとってはいかにも痛快ということだろう。読者も一緒に痛快を楽しむことが出来る一冊だ。

くらしと保険のおはなし

日常生活の方が一に備えましょう！

個人賠償責任保険は、「個人」に対する法的な「損害賠償請求」による経済的損失をカバーしてくれる保険です。

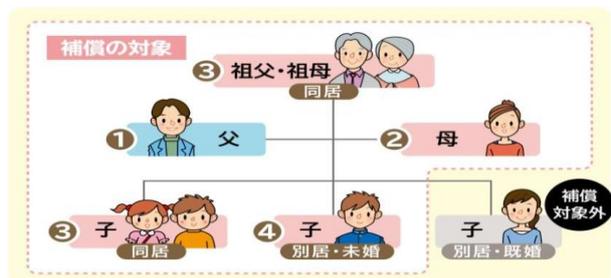
今回は個人賠償責任保険で補償されない主なケースをご紹介します。

- ・故意による事故
- ・仕事中に起きた事故
- ・同居中の家族にケガをさせたり、家族の物を壊したりした場合
- ・喧嘩によって相手にケガをさせたり、物を壊したりした場合
- ・心身喪失が原因で他人にケガをさせたり、物を壊したりした場合
- ・他人への名誉毀損やプライバシーの侵害など、形のない無形資産
- ・自動車、航空機、船舶などによる事故
- ・戦争やテロ、地震や噴火などの災害による損害気をつけておきたいのが、無形資産は対象にならない点です。例えば、他人のパソコンを壊してしまった場合、パソコン本体は補償の対象になっても、パソコンの中に入っていたデータなどは補償の対象になりません。他人への名誉毀損やプライバシー、著作権の侵害といった不法行為も対象になりません。

個人賠償責任保険は安価な保険料(1つの契約)で基本的に家族全員が補償を受けることができます。

ポイントは「誰が被保険者本人なのか」ということです。例えば、両親、別居の未婚の子ども、祖父母の家族構成の場合、父親が被保険者本人であれば、一人暮らしの別居の未婚の子どもも被保険者になります。しかし、祖父が被保険者本人だと、一人暮らしの別居の未婚の子は孫になるため補償されません(被保険者の範囲は保険会社によって異なる為確認が必要です)

なお、被保険者の範囲は、「契約時」ではなく、補償の対象となる「事故が発生した時点」での被保険者本人との続柄で決まります。



被保険者の範囲が広いことも個人賠償責任保険の特徴です。日常生活の様々なリスクに対し家族の暮らしを守ってくれる重要な保険の1つといえるでしょう。

【編集後記】

油断は禁物だが、コロナに感染する人の数が全国的に減少傾向となっており、ひとりの危機的状況から脱しつつあるように見える。

これから寒さに向かう季節となりインフルエンザとともに警戒は怠りないようにしたい。海外では米国プロ野球大谷選手の二刀流が話題になっている。9月23日現在、ホームラン45本、勝利投手9、20盗塁とベブルースを上回る活躍を見せている。残り10試合、敬遠などが多くなっているがなんとか最高の結果を残して欲しい。声援を送りたい。

(9月23日現在)